

エンジン エレクトリカル

ディストリビュータ取り付け 6-2

6

ディストリビュータ取り付け

- 1 No.1 シリンダの点火時期に クランクシャフトを回して合わせる。

点火時期

7°BTDC (6R, 18R)

10°BTDC (18R-B, 18R-BR)

8°BTDC (M)

注

No.1シリンダのインテーク、エキゾーストバルブが閉じた位置でクランクプーリの切りみぞをタイミングポイントに合わせる。

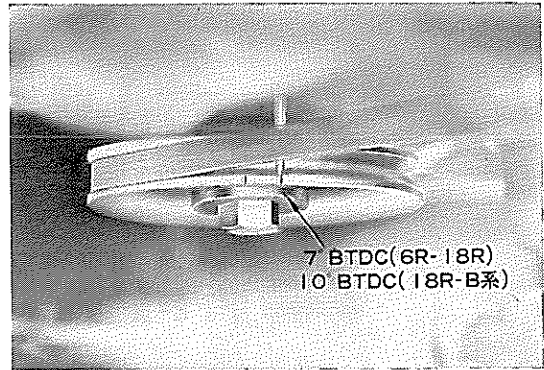
- 2 ディストリビュータボデーの位置を正規に置く。
- 3 ロータがディストリビュータキャップの1番に向き、かつ右回りするカムがブレーカアームを押し上げてポイントが開く寸前にシャフトを合わせる。

注

カムの部分にロータを組み付けて置くと作業が容易に行なえる。

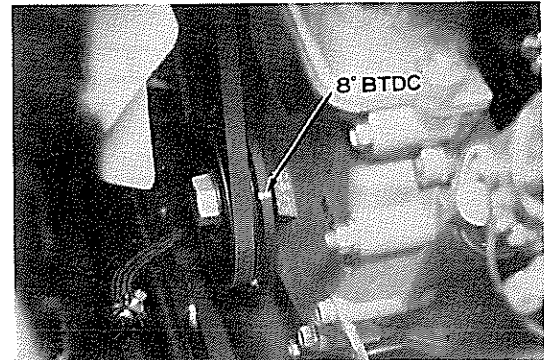
- 4 オイルポンプドライブシャフト上端の切りみぞをディストリビュータシャフト下端のオイルポンプドライブシャフトかん合部の向きと合わせる。(6R, 18R系のみ)
- 5 この状態からロータをあらかじめ30°(スパイラルギヤで約一齒)反時計方向に回しておいてシリンダブロック本体にそう入する。(Mエンジンは時計方向に回すこと)

- 6 再びブレーカアームがカムに押し上げられポイントが開く寸前になるようにハウジングを動かして調整し、クランプを締め付ける。
- 7 一次配線およびバキュームパイプを取り付ける。



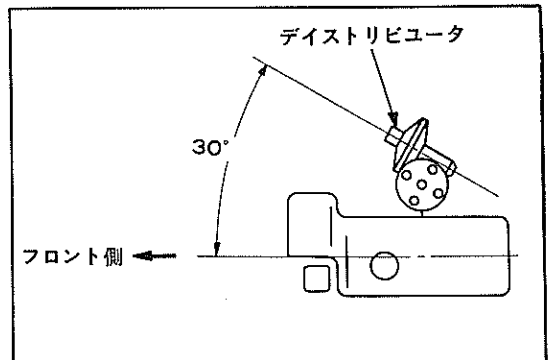
第6-1図 タイミング (6R, 18R系)

C0516



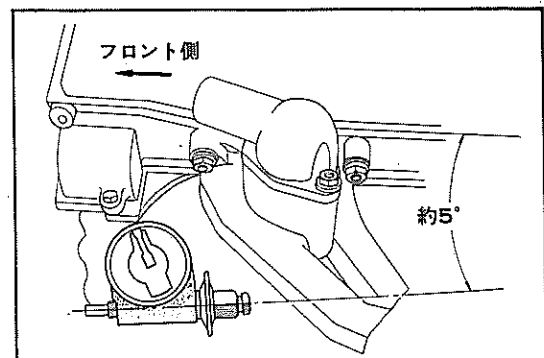
第6-2図 タイミング (M)

B9912



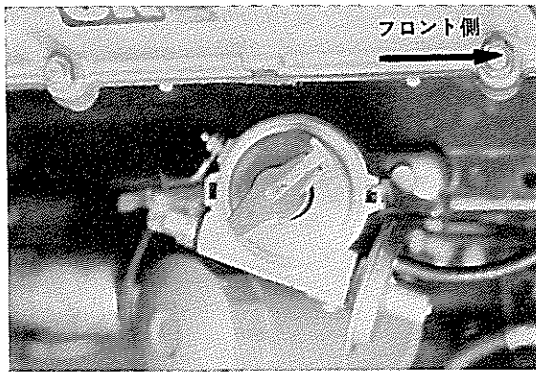
第6-3図 ディストリビュータ組み付け位置 (6R, 18R系)

G3674



第6-4図 ディストリビュータ組み付け位置(M)

G1634

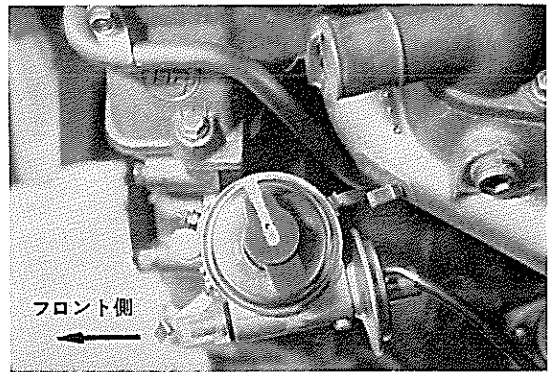


第6-5図 デイストリビュータ取り付け (6 R, 18R系) B9913

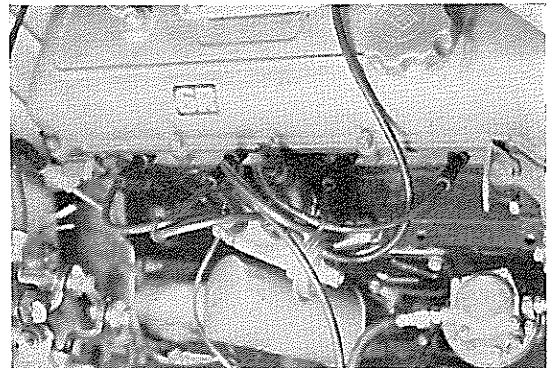
- 8 仮付けしてあるロータを取り、ダストプルーフカバー、ロータ、デイストリビュータキャップを取り付ける。
- 9 コイルコード、スパークプラグコードを取り付ける。
- 10 タイミングランプを使用して、イグニッションタイミングを調整する。
- 11 走行テストを行ないオクテンセレクトアの調整を行なう。

注

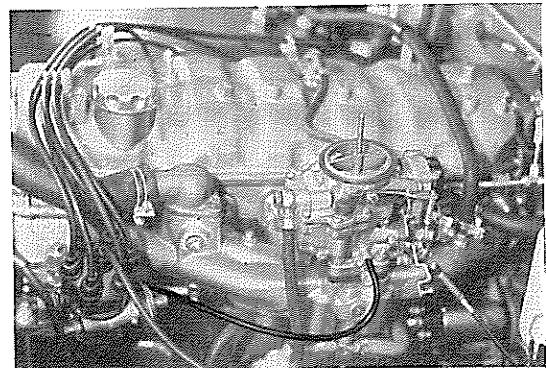
- 1 調整方法は、車をトップギヤで走行し車速25～35km/hから急にアクセルレターペダルをいっぱい踏み込んだとき、初期にわずかなエンジンノッキングを起こし、しだいに消えるようにする。
- 2 オクテンセレクトアをAの方向へ回すとタイミングは進み、Rの方向に回すと遅れる。



第6-6図 デイストリビュータ取り付け (M) B9914



第6-7図 デイストリビュータキャップ取り付け B9915 (6 R, 18R系)



第6-8図 デイストリビュータキャップ取り付け (M) B9939

MEMO